

川の安全利用に向けた取り組み

「川の安全利用学習会～平岸西小学校～」を開催しました！（7月3日）

7月3日（金）の「川の安全利用学習会」に平岸西小学校4年生の児童72名と先生3名が参加しました。豊平川（南22条大橋）の河川敷で、川のかたちや川に近づく時の注意点・危険なところを学ぶ「川の危険箇所学習」、豊平川およびその他の川の水質を調べる「水質学習」、豊平川に棲む魚類や水生昆虫を学ぶ「水辺の生き物学習」を実施しました。

● 実施内容

□ 川の危険箇所学習



川にあるいろいろな危険箇所をパネルで学びました。



川の深さは場所によって急変し、見た目では分かりません。



流された時は川の流れる方に足を向け流れに身をまかせよう。



ルールを守って事故にあわないようにしましょう。

□ 水質学習



豊平川と学校周辺を流れる川の水質を簡易測定キットを使って調べました。



調べた結果から、川が「きれい」か、「よごれている」かのパネルを見て学習しました。

□ 水辺の生き物学習

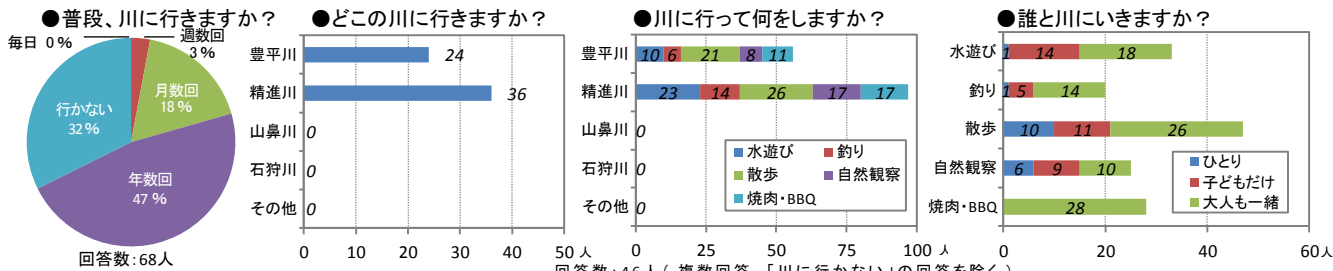


川の中や川底がどのようなになっているのかを箱メガネで観察しました。

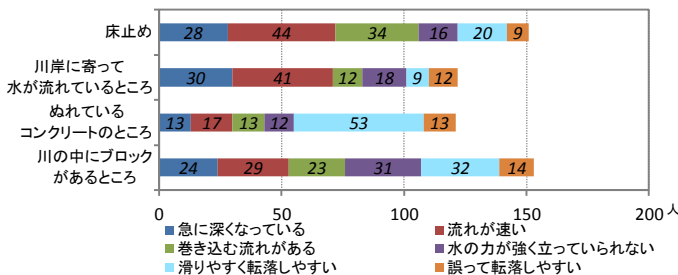


豊平川に生息する魚や水生昆虫をパネルで学び、実際に捕獲した生き物を観察しました。

● アンケート調査



● 川のどこが危険だと思いますか？（回答数：68人 複数回答）



アンケートの結果、半数以上の児童が川を利用し、身近である豊平川や精進川に出かけ、多目的に利用していることがわかりました。
「水遊び」や「釣り」の水際に近づく利用の場合は、半数以上の児童が大人と一緒にですが、「ひとり」または「子どもだけ」で出かけることもあるようです。今回の安全利用学習会を通して、児童がいろいろな川の危険箇所を認識し、今後は、学習したルールを正しく守り、川と上手にふれあってくれることを期待します。

● 学習会に参加した感想

- 川の安全利用学習会を体験してみて「わかったこと」、「楽しかったこと」など、児童達・先生達に答えてもらいました。
- ★ もし流された時の体勢や川の危ない所など教えてくれたから、まんがいちの時や川で遊ぶ時に役立てたいです。
 - ★ 魚のすみやすい水質を保ち、川にのこったジュースを捨てたり、食べ物を捨てたりしないようにしたい。
 - ★ 小さな虫や魚が、あんなにも川にいたという事にびっくりしました。川に入って小さな虫がとれてうれしかったです。
 - ☆ 実際に川の中に入って、川の流れや冷たさを感じながら話を聞き、何に気がついたらいいのかわかる、実感できたように思います。

★：児童 ☆：先生

お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌河川事務所 計画課
〒005-0032 札幌市南区南32条西8丁目2番1号 TEL：(011) 581-3207

